

～ひきこもりなどの社会的孤立を取り巻く家庭内不和からの生活再建～

共に暮らすことが難しい家族の問題を考える

10/1 土 13:30～16:30 開催

 開催場所 

オフィスパーク名駅プレミアホール 403ABC

名古屋市中村区名駅 4-5-27 大一名駅ビル 3階 TEL: 052-485-9410

(名古屋駅桜通口徒歩3分。ユニモール7番出口前)

※駐車場はありません。公共交通機関でお越しください

ご参加の方には、
またお申し込みの
ご参加の方には、
ご参加の方には、
ご参加の方には、

家族内でのトラブルや暴力、コミュニケーションの困難。これらの問題にどう対応すればいいのだろうか？
子どもが家を出て自立的に暮らすことができる「居住支援」の可能性とは？
家族内の不和と回復（の途上）を経験している当事者の方の話をメインに、家族内暴力の研究者や
家族問題の支援者を交えながら、対話的に問題と解決のありかを探っていきます。
また、参加者の皆さんにも対話の中に加わってもらい、議論を発展させたいと思います。

参加費：**無料** 定員：**120**名（先着順）

登壇者

桑原 瞭

(オレンジの会)

16～20歳までひきこもる。
現在、日本福祉大学在籍。

桑原 貴子

(RITAの会)

2016年から家族会(RITA)の会
に参加する。桑原瞭の母親。

石上 里美

(名古屋市仕事・暮らし
自立サポートセンター
大曾根 副センター長)

1992年～2015年まで
メンタルクリニックのPSW。
2015年～名古屋市仕事暮らし
自立サポートセンター相談員。

中村 正

(立命館大学教授)

臨床社会学の視点から家族病理や
社会病理の問題を研究。家庭内暴力の
男性加害者へのサポートを行う。
「男親塾」―メンズサポートルーム―
を立ち上げるなど、日本における
「加害者問題」の研究・対策に
取り組んでいる。
著書に「下メスティック・バイオ
レンスと家族の病理」(作品社)、
『治療的司法の実践』(第一法規)
などがある。

西井 開

(千葉大学
社会科学
研究院特別
研究員)



メインファシリテーター
立命館大学人間科学研究科
博士後期課程修了。博士(人間科学)。
臨床心理士。公認心理師。専攻は、
臨床社会学、男性・マジョリティ研究。
著書に「非モテ」からはじめる
男性学(集英社)。

参加申し込み

右記のQRコードを読み取り
お問い合わせフォームからお申込みください
下記お電話・メールでも受け付けております。



お問い合わせ先: **名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター大曾根**
E-mail shigoto.kurashi@oozone.jp
電話 052-508-9611

【主催】名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター大曾根

〒462-0825 名古屋市北区大曾根四丁目17番23号 イトーピア大曾根 TEL: 052-508-9611
月～金 第1・5土曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00(木は20:00まで) E-mail: shigoto.kurashi@oozone.jp

【協力】RITAの会 わっぱの会 からし種 オレンジの会